

厚生労働省  
厚生科学研究補助金

健康科学総合研究事業  
(H-14健康-017)

# 成人の飲酒実態と関連問題の予防に関する研究

平成14年度

研究報告書

樋口班

主任研究者 樋口 進

平成15年3月

# 目 次

1. 成人の飲酒実態と関連問題の予防に関する総括研究報告 ..... 1  
主任研究者 樋 口 進 (国立療養所久里浜病院)
  
2. 成人の飲酒実態と関連問題の予防に関する研究 ..... 27  
分担研究者 樋 口 進 (国立療養所久里浜病院)
  
3. 国民栄養調査を用いたわが国の成人飲酒者率および多量飲酒者率の推計 ..... 31  
分担研究者 尾 崎 米 厚 (鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野)
  
4. 地域における飲酒実態調査のReview ..... 45  
分担研究者 白 坂 知 信 (北仁会 石橋病院)
  
5. わが国の職場におけるアルコール関連問題の現状に関する研究 ..... 51  
分担研究者 廣 尚 典 (日本鋼管病院鶴見保健センター)
  
6. 成人の飲酒実態と関連問題の予防に関する研究 ..... 61  
分担研究者 松 下 幸 生 (国立療養所久里浜病院)

# 總括研究報告

成人の飲酒実態と関連問題の予防に関する研究

主任研究者 樋口 進 国立療養所久里浜病院臨床研究部長

研究要旨:

本研究の目的は、我が国の成人の飲酒パターンとアルコール関連問題の実態を把握することにある。調査は今年度も含めて向こう3年間で終了する予定である。今年度は既存のデータのまとめを兼ねてまず、4名の分担研究者が国民栄養調査の再解析および過去に行われた飲酒実態調査のreviewを行った。これらのデータは、いずれも飲酒状況およびアルコール関連問題に関する無作為抽出サンプリングによる国レベルの調査の必要性を示していた。本研究班の主課題である実態調査に関して、今年度は、調査票を作成し、首都圏在住の20歳代から70歳代までの男女50名に対して予備調査を行った。次年度は、この予備調査の結果をもとに調査票を修正し、住民基本台帳から層化2段無作為抽出された20歳以上の男女3,500人を対象に本調査を行う予定である。

分担研究者氏名・所属機関

樋口 進 国立療養所久里浜病院臨床研究部長  
尾崎米厚 鳥取大学医学部衛生学助教授  
白坂知信 医療法人北仁会石橋病院副院長  
廣 尚典 NKK 鶴見保健センター長  
松下幸生 国立療養所久里浜病院精神科医長

A. 研究目的

我が国は世界で最も高齢化が進んでいる国である。一般に、一人当たりのアルコール消費量は、中年以降年齢が進むに従って減少する。先進諸外国では、この高齢化に従って、アルコール消費量は年々低下している。しかし、我が国では、人口の高齢化に合わせて減るべきアルコール消費が減っていない。従来は飲酒量が少ないとされていた若年・女性・高齢者の飲酒量が増えているためにこのような現象が起きているという指摘がある。事実、

未成年者に対して行われている複数の調査結果はこの推測の正しいことを示している。これらの人口集団は中年男性に比べて、アルコールの分解がより遅く、アルコールの影響により敏感であるため、少ない飲酒量でさまざまな問題を引き起こす。また、現在長引く経済不況で、失業者数が急激に増えている。この失業者率とアルコール関連問題はパラレルに動くという指摘があり、自殺の急増とともに、不況がもたらす大きな社会問題となる可能性が大きい。このように様々な間接的あるいは小規模な資料は、アルコール関連問題の深刻化を強く示唆している。しかし、適切な方法で、国を代表するサンプルについて、飲酒状況や関連問題の正確な実態は把握されていないのが現状である。

以上の状況を踏まえ、本研究の目的は、我が国の成人一般人口の飲酒状況を把握することにある。特に、アルコール関連問題については詳細な調査を行う。

本年度は同時に、既存のデータの掘り起こ

しとまとめを兼ねて、過去に行われた飲酒およびアルコール関連問題の実態調査の文献的考察を行った。また、最近の国民栄養調査の再解析を行い、習慣飲酒者および大量飲酒者の時系列分析等を行った。2年後に明らかとなる本研究結果と平行して、これらのデータから成人人口の飲酒状況やアルコール関連問題の対策を講ずる上で基礎となる情報が提供されることが期待される。

## B. 研究方法

本研究の中心的課題は我が国の成人人口の飲酒パターンとアルコール関連問題の実態を明らかにすることである。既往のとおり、今年度は実態調査に加えて、国民栄養調査の再解析と過去の調査の文献的考察とを行ったので、以下順に述べていく。

### 1. 実態調査

#### 1) 3年間の概要

班員でまず予備調査票を作成する。その調査票を使い、男女50名に対して予備調査を行う。予備調査の結果をもとに、本調査票を作成する。本調査は、住民基本台帳から層化2段無作為抽出された20歳以上の男女3,500名の対象者に対して、自宅訪問して実施する。調査結果をコード化してパソコンに入力して解析する。なお、調査の実施および結果のコード化、パソコンへの入力、社団法人中央調査社に委託する。

#### 2) 今年度の研究方法

予備調査票の原案を樋口と松下班員が作成し、中央調査社の担当者も交えて、班会議を開いてその内容を検討した。検討内容に従って、予備調査票の最終版を作成した。この調査票を用いて、首都圏の5地区を選び、各地区で10名ずつの対象者に対して面接および自記式調査を行った。調査の終了後に、各調査員と研究班員との合同検討会を行った。

なお、予備調査結果もパソコンに入力し、解析を行った。

### 2. 国民栄養調査の再解析

所定の手続きを経て、厚生労働省より国民栄養調査の原データが格納されている磁気テープ(1990-1999年分)を入手し、解析した。飲酒状況を尋ねているのは、保健師らの問診による身体状況調査である。この調査で習慣飲酒者、多量飲酒者とはそれぞれ、1日平均日本酒換算1合以上、週3日以上飲酒する者および1日平均3合以上飲酒する者をいう。この研究は尾崎班員によって行われた。

### 3. 過去の調査の文献的考察

この課題は3つの側面からなされた。それらは、主に地域における調査(担当:白坂班員)、職域における調査(担当:廣班員)、主に国レベルの調査(担当:松下班員)である。

#### 1) 地域の調査

北海道においてなされた3調査を網羅している。まず、平成3-4年に行われた「後志管内における酒害対策の方向性について」の一般住民調査を解析した。本報告書では主にこの内容を取り扱う。さらに、平成12年および15年度にそれぞれ一般住民、断酒会会員に対して行われた「心の健康の背景となっているストレス、休養、睡眠についての実態調査」の資料を分析した。

#### 2) 職域の調査

最近10年間に論文または学会発表された職域関係の報告の内容を検討した。

#### 3) 国レベルの調査

JMEDICINEデータベースで、「飲酒」、「実態調査」のキーワードで文献検索して得られた4つの実態調査をreviewした。それらの調査は、「首都圏一般人口調査(1976)」、「日米

共同疫学調査(1984)」、「岡山県調査(1991)」、「自治体職員調査(1997)」である。

#### 4. 倫理面への配慮

本研究は、国立療養所久里浜病院の倫理委員会の承認を得て行なっている。調査対象者に対しては、調査の趣旨、内容等を記した葉書をまず郵送し、調査の内容を伝える。その後調査員が自宅を訪問し、対象者に対して調査の趣旨、内容、方法等を説明して同意の得られた場合に調査を実施する。得られたデータは保管を厳重にし、扱いは本研究の関係者に限るよう配慮する。データの発表に際しては、調査対象者個人が特定される恐れのないように配慮する。

### C. 結果および考察

#### 1. 実態調査

##### 1) 予備調査票

調査票は前半の聞き取り調査部分と後半の自記式調査部分から成っている。聞き取り部分は、1) 調査対象者の背景情報、2) 健康状況、3) 喫煙、4) 睡眠、5) 飲酒状況とアルコール関連問題、から成っている。飲酒状況に関連した項目として、初飲年齢、習慣飲酒開始年齢、最大飲酒量などの質問も含んでいる。アルコール関連問題については、1) 飲酒に関連した不快な経験、2) ICD-10 による有害な使用、3) ICD-10 によるアルコール依存症の評価が可能な調査票となっている。自記式部分は、既存のアルコール関連問題のスクリーニングテストと新しいテスト開発のための質問項目からなっている。既存のテストは、1) Alcohol Use Disorders Identification Test (AUDIT)、2) CAGE テスト、3) KAST である。新しいテストに関しては、KAST の改良版と女性用スクリーニングテストの開発をめざしている。このために既存の KAST とほぼ同じフォーマットの質問を 38 項目用意した。なお、予備調査票は本報告書に添付してあ

る

##### 2) 予備調査の結果の概要

当初、20 歳代から 60 歳代まで、各年代 10 名ずつと計画したが、調査拒否のためにやや年代の分布にずれが生じ、70 歳代を 4 人含むことになった。

飲酒頻度は、男女合わせての数字であるが、週に 3 日以上飲酒する頻回飲酒者が 48% とかなり高い割合を示していた。アルコール関連問題に関しては、スクリーニングテストではある一定の数が問題飲酒者またはアルコール依存症として同定された。しかし、面接調査による方法では、ICD-10 の有害な使用およびアルコール依存症はほとんど同定されなかった。スクリーニングテストから推察される ICD-10 の有害な使用はもっと頻度が高いはずであり、この点については調査票を改良しなければならないだろう。

##### 3) 調査員との検討会

調査票や調査の方法等について様々な意見が還元された。その主なものは 1) 調査の名前が長すぎる、2) 調査の順序を変える必要がある、3) 飲酒パターンの聞き方を改良する余地がある、4) 飲酒が原因の不快体験は自記式にすべき、5) ICD-10 の調査票の改良の必要性などであった。上記予備調査結果および調査員からの還元を考慮して、予備調査票を修正して、次年度に予定されている本調査用の調査票を完成させる必要がある。

#### 2. 国民栄養調査の再解析

国民栄養調査の原データを 1990 年の国勢調査の総人口に従って、年齢調整することにより経年比較が可能となった。習慣飲酒者率は男性が 50% 前後、女性が 6-8% ではっきりした傾向は認められなかった。しかし、よく見ると男性は 94 年までは漸減、95 年に飛躍的に上がり、以後ほぼ横ばいであった。この上

昇の理由は不明である。年齢調整多量飲酒者率は、男性は7-8%で女性は1%未満であった。女性の場合は、実数でも20-30人で解析が困難であった。

以上をまとめると、国民栄養調査を用いて飲酒者率、多量飲酒者率を推計するにはいくつかの問題点が存在した。それらは、調査方法、飲酒の定義、サンプリング方法、サンプル数、情報の不完全さなどである。従って、成人の飲酒者率を明らかにするためには、それを直接目的とした全国を代表するような調査が必要である。

### 3. 過去に行われた調査の文献的考察

詳細は各分担研究報告を参照していただきたい。ここでは、様々な調査内容の中から、アルコール関連問題の実態についてまとめる。それぞれの分野の調査の中で、久里浜式アルコール症スクリーニングテスト（KAST）が組み入れられているものが多く、各調査を比較するのに適している。

北海道の1地域の住民調査では、スクリーニングテスト上アルコール依存症と判定される重篤問題飲酒者の割合は、男女合わせて21%であった。職域では男性が10-30%、女性に対する調査は少ないが1.7%という数字を報告している調査がある。松下班員のまとめた4調査のうちで、国レベルといえるのは日米調査のみで（無作為抽出サンプリングではない）、他の3調査は地域レベルのものである。これによれば、男性5.0-19.4%、女性が0.3-4.8%で、ばらつきが非常に大きかった。

今年度は3名の分担研究者に、それぞれ、地域、職域、国レベルの調査のreviewをお願いした。調査は職域では比較的よくなされていたが、一般住民に対する無作為抽出方法による国レベルの調査はなされていないことが改めて示された。その意味でも本実態調査の意義は大きいといえる。

### D. 結論

国民栄養調査の再解析や、過去に行われた飲酒実態調査のreviewなどはいずれも、飲酒状況およびアルコール関連問題に関する無作為抽出サンプリングによる国レベルの調査の必要性を示している。その意味では、本研究班で進行しつつある実態調査の意義は大きいといえる。

本調査の場合、今年度作成した飲酒パターンとアルコール関連問題に関する調査票を使用した予備調査結果から、この調査票を一部修正することで、次年度の本調査が実施できる目処が立った。次年度には、3,500サンプルを用いた本調査を実施する。

### E. 健康危険情報

特になし。

### F. 研究発表

1. 論文発表  
なし。
2. 学会発表  
なし。

### G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得  
なし。
2. 実用新案登録  
なし。
3. その他  
なし。

## 成人の飲酒実態と関連問題の予防に関する調査

調査月日	調査時刻	所要時間(分)
月 日	(開始) 時 分 (終了) 時 分	分

2003年 2月

(調査企画) 成人の飲酒実態と関連問題  
の予防に関する研究班  
(調査実施) 社団法人 中央調査社

支局番号	地点番号			対象番号		調査員名	点検者名
②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨⑩=01

〈フェース・シート〉

F1. [ 性 ]

1 2  
男 性 女 性

F2. まず、あなたご自身のことについてお聞かせください。

あなたの生年月日を西暦で教えてください。

(調査員注：西暦でうまく回答できない場合には元号でたずねる)

西暦     年   月   日 生まれ  
( 明治 大正 昭和 ) 年

F3 [回答票1] あなたは学校に通算で何年行きましたか。

年 00 学校には行かなかった

F4 [回答票2] あなたの現在の婚姻状況をお聞かせください。

- |  |  |
|--|--|
| <p>1 (ア) 配偶者と同居している<br/>2 (イ) 配偶者と別居している<br/>3 (ウ) 内縁関係 (配偶者のような関係)<br/>4 (エ) 死別した</p> | <p>5 (オ) 離婚した<br/>6 (カ) 未婚 (結婚したことがない)<br/>8 無回答</p> |
|--|--|
- ↓ (次頁のF5へ)

【F4で1～4を回答した方に】

付問1. あなたは今までに離婚の経験がありますか。

1 2 8  
は い い い え 無回答



【全員の方に】

F 5〔回答票 3〕あなたが18歳になるまでの間、一番長く住んだ所はどこですか。

都道府県コード  (具体的に )

F 6. 現在、一緒に住んでいるご家族はあなたを含めて何人ですか。

人 (一人の場合は、F 8へ)

F 7〔回答票 4〕現在、一緒に住んでいる方々をすべてあげてください。(M. A.)

- |                         |                            |
|-------------------------|----------------------------|
| 1 (ア) 配偶者               | 11 (サ) 姉 ( ) 人             |
| 2 (イ) 配偶者の父 (義父)        | 12 (シ) 妹 ( ) 人             |
| 3 (ウ) 配偶者の母 (義母)        | 13 (ス) 祖父 (父方)             |
| 4 (エ) 自分の父              | 14 (セ) 祖母 (父方)             |
| 5 (オ) 自分の母              | 15 (ソ) 祖父 (母方)             |
| 6 (カ) 息子 ( ) 人          | 16 (タ) 祖母 (母方)             |
| 7 (キ) 娘 ( ) 人           | 17 (チ) 孫 ( ) 人             |
| 8 (ク) 結婚している子の配偶者 ( ) 人 | 18 (ツ) その他の親族 ( ) 人        |
| 9 (ケ) 兄 ( ) 人           | 19 (テ) 親族以外 (ペットは除く) ( ) 人 |
| 10 (コ) 弟 ( ) 人          |                            |

(調査員注：F 6の家族人数と一致するか確認すること)

F 8. 少し話題が変わりますが、現在あなたは趣味サークルや市民活動、宗教などの団体やグループに定期的に参加していますか。

1  
はい  
↓

2  
いいえ  
↳ (F 9へ)

付問 1〔回答票 5〕それはどんな団体・グループですか。他にありませんか。(M. A.)

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 1 (ア) 市民・政治・組合活動   | 6 (カ) 宗教団体    |
| 2 (イ) 社会福祉・チャリティー  | 7 (キ) PTA     |
| 3 (ウ) スポーツ・趣味      | 8 (ク) 町内会     |
| 4 (エ) 経済・生活・消費者クラブ | 9 (ケ) その他 ( ) |
| 5 (オ) 女性団体         |               |

F 9〔回答票 6〕現在のあなたの就労状況をお聞かせください。

- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| 1 (ア) 自営 (家族従業を含む)      | 4 (エ) 学生          |
| 2 (イ) 勤め (正職員)          | 5 (オ) 家事専業 (専業主婦) |
| 3 (ウ) 勤め (派遣・パート・アルバイト) | 6 (カ) 無職 (失業中を含む) |

F10【回答票7】あなたはどのような種類の産業で働いていますか。または最後にどのような種類の産業で働いていましたか。(調査員注：分類不能の場合はできるだけ具体的に記入しておく)

- |                         |   |
|-------------------------|---|
| 1 (ア) 就労したことはない→ (F12へ) | 10 (コ) 卸売・小売業、飲食店   |
| 2 (イ) 農業                | 11 (サ) 金融、保険業   |
| 3 (ウ) 林業                | 12 (シ) 不動産業   |
| 4 (エ) 漁業                | 13 (ス) サービス業  |
| 5 (オ) 鉱業                | 14 (セ) 公務(上記の各分野に属さない公務)  |
| 6 (カ) 建設業               | 15 (ソ) 分類不能の産業  |
| 7 (キ) 製造業               | <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div style="text-align: center;"> <p>具体的に</p> <br/><br/><br/><br/> </div> <div style="font-size: 4em; margin-left: 10px;">}</div> </div> |
| 8 (ク) 電気・ガス・熱供給・水道業     |   |
| 9 (ケ) 運輸、通信業            |   |
|                         |   |

F11【回答票8】あなたはどのような種類の仕事をしていますか。または最後にどのような種類の仕事をしていましたか。(調査員注：分類不能の場合はできるだけ具体的に記入しておく)

- |                    |   |
|--------------------|---|
| 1 (ア) 専門的、技術的職業従事者 | 8 (ク) 運輸・通信従事者  |
| 2 (イ) 管理的職業従事者     | 9 (ケ) 生産工程・労務作業   |
| 3 (ウ) 事務従事者        | 10 (コ) 分類不能の職業  |
| 4 (エ) 販売従事者        | <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div style="text-align: center;"> <p>具体的に</p> <br/><br/><br/><br/> </div> <div style="font-size: 4em; margin-left: 10px;">}</div> </div> |
| 5 (オ) サービス職業従事者    |   |
| 6 (カ) 保安職業従事者      |   |
| 7 (キ) 農林漁業作業       |   |

【全員の方に】

F12【回答票9】あなたの世帯では生活費をどのような収入でまかなっていますか。過去6ヵ月間について、主なものを一つあげてください。

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 1 (ア) 給与収入              | 7 (キ) 貯蓄の取り崩し         |
| 2 (イ) 事業収入              | 8 (ク) 退職一時金           |
| 3 (ウ) 家賃・利子など資産の収入      | 9 (ケ) 土地・家屋などの不動産売却収入 |
| 4 (エ) 公的年金・個人年金・企業年金    | 10 (コ) 福祉(生活保護)       |
| 5 (オ) 満期保険金             | 11 (サ) 借金             |
| 6 (カ) 子供、親戚などからの援助(仕送り) | 12 (シ) その他( )         |

F13. ここからはあなたの健康状態などについてうかがいます。

あなたの身長は何cmですか。

--	--	--

cm

× わからない・無回答

F14. 体重は何kgですか。

--	--	--

kg

× わからない・無回答

問1〔回答票 10〕あなたはこのような病気にかかったことがありますか。(調査員注：ひとつずつ順番に読みあげていき、経験の有無を答えてもらう。経験がある場合は、続けて「時期」と「診断」について質問する。「ガン」及び「その他」は具体的にたずねる)最後にその病気にかかったのはいつですか。また、その病気に対する医師の正式な診断はありましたか。

病 名	a. 経験	b. 時期			c. 診断
(1) 脂肪肝	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(2) アルコール性肝炎	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(3) ウィルス性肝炎	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(4) 肝線維症または肝硬変	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(5) 逆流性食道炎	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(6) 胃潰瘍・十二指腸潰瘍	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(7) 胃炎、十二指腸炎	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(8) 急性または慢性すい炎	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(9) ガン (部位 )	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(10) 糖尿病	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(11) 痛風または高尿酸血症	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(12) 高脂血症または 高コレステロール血症	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(13) 高血圧	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(14) 狭心症	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(15) 心筋梗塞	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(16) 不整脈	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(17) 脳卒中または脳出血	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(18) 脳梗塞	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(19) うつ病	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(20) 不眠症	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(21) ノイローゼ	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(22) 貧 血	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(23) 外 傷 (骨折を伴う程度の)	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(24) 頭部外傷	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない
(25) その他 (具体的に )	1 ある → 2 ない	1 現在 ある	2 過去1年間 にあった	3 1年以上前 にあった	1 ある 2 ない

問2. あなたは今までに、たばこを合計100本以上吸いましたか。

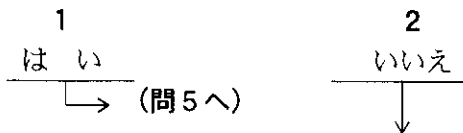


問3. 好奇心でちょっとだけ吸ってみたのは別にして、あなたがたばこを吸い始めたのは何歳の時ですか。

--	--

 歳ごろ

問4. あなたは、現在もたばこを吸っていますか。



付問1. 最後にたばこを吸ったのは何歳の時ですか。

--	--

 歳ごろ

**【これまでに合計100本以上吸った方に】**

問5. あなたは、平均すると1日に何本ぐらいたばこを吸っていますか。または吸っていましたか。  
(調査員注: 「1本未満」の場合は「1本」と記入する)

--	--

 本ぐらい

**【全員の方に】**

問6. あなたは不眠症ですか。

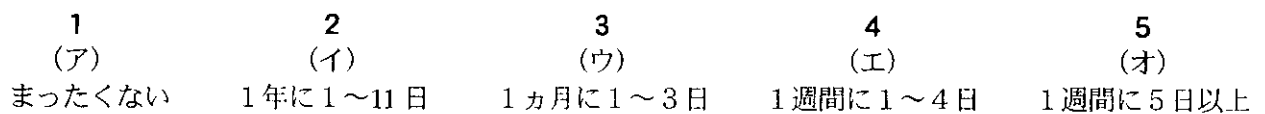


問7. あなたは、平均すると1日に何時間ぐらい睡眠をとっていますか。昼寝等の時間も含めてお答えください。

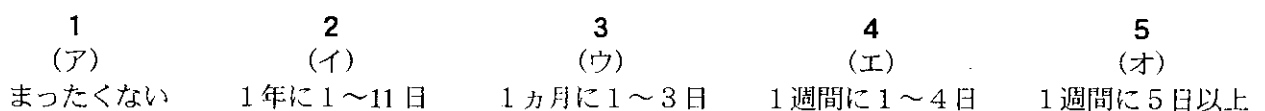
--	--

 時間ぐらい

問8 【回答票11】 あなたは、眠りを助けるために睡眠剤や安定剤を使うことがありますか。



問9. 【回答票11】 では、あなたは睡眠剤や安定剤をアルコールと一緒に飲むことがありますか。時間をずらして飲む場合も含めてお答えください。



次に、お酒のことについてうかがいます。ここでいう「お酒」とはビール、日本酒、ワイン、焼酎、ウイスキーといったアルコール飲料のことですが、アルコール濃度が1%未満のノンアルコールビールなどは除いてお考えください。

問10〔回答票12〕あなたが18歳になるまでの間、あなたのご両親の飲酒状況はどれくらいでしたか。

(1) まず、父親についてお聞かせください。

1 (ア) まったく 飲まない	2 (イ) 少量飲酒	3 (ウ) 適度な飲酒	4 (エ) 大量飲酒	5 (オ) アルコール 依存症	8 わからない ・無回答
--------------------------	------------------	-------------------	------------------	--------------------------	--------------------

(2) 次に、母親についてお聞かせください。

1 (ア) まったく 飲まない	2 (イ) 少量飲酒	3 (ウ) 適度な飲酒	4 (エ) 大量飲酒	5 (オ) アルコール 依存症	8 わからない ・無回答
--------------------------	------------------	-------------------	------------------	--------------------------	--------------------

問11〔回答票13〕今までに、家族のどなたかの飲酒が原因で、あなたがひどく嫌な思い、または困った経験をしたことがありますか。表を見ながら、どなたのどのような問題だったのかお答えください。(M.A.)

(調査員注：順番に読み上げて確認する。祖父母については父方、母方のどちらでもよい)

	(ア) 暴言・暴力	(イ) からまれた	(ウ) 飲酒の強要	(エ) その他の問題行動	(オ) セクシャル ハラスメント	(カ) 問題行動の後始末	(キ) 飲酒による身体問題の世話	(ク) 外部からの注意や連絡	(ケ) 他人に対して恥をかいた	(コ) 経済的問題	(サ) その他	ない
(1)自分の祖父	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(2)自分の祖母	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(3)自分の父親	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(4)自分の母親	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(5)配偶者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(6)自分の兄弟	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(7)自分の子ども	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(8)その他(具体的に )	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12



(全く経験がなかった場合には次頁の問12へ)

【ひとつでも経験があった方に】

付問1〔回答票14〕そのような経験は、あなたの生き方や考え方に影響を与えましたか。

1 (ア) 影響を与えなかった	2 (イ) 少し影響を与えた	3 (ウ) かなり影響を与えた	4 (エ) 重大な影響を与えた
-----------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------

問12〔回答票15〕 それでは、家族以外のどなたかの飲酒が原因で、あなたがひどく嫌な思い、または困った経験をしたことがありますか。表を見ながら、どなたのどのような問題だったのかお答えください。(M.A.)  
 (調査員注：順番に読み上げて確認する)

	(ア) 暴言・暴力	(イ) からまれた	(ウ) 飲酒の強要	(エ) その他の問題行動	(オ) セクシャル ハラズメント	(カ) 問題行動の後始末	(キ) 飲酒による身体問題の世話	(ク) 外部からの注意や連絡	(ケ) かいた他人に対して恥を	(コ) 経済的問題	(サ) その他	ない
(1)親せき	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(2)近隣の住民	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(3)職場の人	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(4)仕事の相手	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(5)その他の友人・知人	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(6)知らない人	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(7)その他(具体的に )	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12



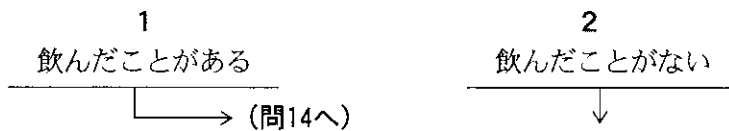
(全く経験がなかった場合には問13へ)

【ひとつでも経験があった方に】

付問1〔回答票16〕 そのような経験は、あなたの生き方や考え方に影響を与えましたか。

- |                       |                      |                       |                       |
|-----------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1<br>(ア)<br>影響を与えなかった | 2<br>(イ)<br>少し影響を与えた | 3<br>(ウ)<br>かなり影響を与えた | 4<br>(エ)<br>重大な影響を与えた |
|-----------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|

問13. あなた自身は、今までにお酒を飲んだことがありますか。ちょっとだけの試し飲みは除いてお考えください。



付問1. それでは、あなたは一度もお酒を飲んだことがないのですね。



問14〔回答票17〕 あなたは、平均するとお酒をどれくらい飲みますか。

- |                |                      |
|----------------|----------------------|
| 1 (ア) 毎日2回以上   | 6 (カ) 1ヵ月に2~3日       |
| 2 (イ) 毎日1回     | 7 (キ) 1ヵ月に1日         |
| 3 (ウ) 1週間に5~6日 | 8 (ク) 1年間に6~11日      |
| 4 (エ) 1週間に3~4日 | 9 (ケ) 1年間に1~5日       |
| 5 (オ) 1週間に1~2日 | 10 (コ) 過去1年間は飲酒していない |

↓  
(10頁の問20へ)

【過去1年間にお酒を飲んだ経験がある方に】

問15〔回答票18〕 お酒を飲むときには、平均すると1日にどれくらい飲みますか。表を見ながら、種類別にお答えください。(調査員注：ふだん飲むお酒ごとに計算した単位を記入したあと、合計の単位を計算する)

＜右詰めで小数点第1位まで記入する。例えば「日本酒6合」なら「13.2」となる＞

種類	(1)ビール・ 発泡酒	(2)日本酒	(3)焼酎	(4)酎ハイ類
単位数				

(5)カクテル類	(6)ワイン	(7)ウイスキー 類	(8)その他 (梅酒等)	合計

アルコール換算表

種類	量	単位数
(1) ビール (5%)	コップ(200mL) 1杯	0.8
	小ビンまたは 350mL カン1本	1.4
	中ビンまたは 500mL カン1本	2.0
	大ビンまたは 633mL カン1本	2.5
	中ジョッキ (500mL) 1杯	2.0
	大ジョッキ (1,000mL) 1杯	4.0
	(2) 日本酒 (15%)	1合 (180mL)
お猪口 (30mL) 1杯		0.4
(3) 焼酎 (20%)	1合 (180mL)	2.9
	焼酎 (25%)	1合 (180mL)
(4) 酎ハイ (7%)	コップ1杯 (200mL)	1.1
	350mL カン酎ハイ1本	2.0
	500mL カン酎ハイ	2.8
	中ジョッキ (500mL) 1杯	2.8
(5) カクテル類 (5%)	コップ(200mL) 1杯	0.8
	350mL カン1本	1.4
	500mL カン1本	2.0
	中ジョッキ (500mL) 1杯	2.0
(6) ワイン(12%)	ワイングラス (120mL) 1杯	1.2
	ハーフボトル (375mL) 1本	3.6
	フルボトル (750mL) 1本	7.2
(7) ウイスキー、ブランデー、ジン、ウォッカ、ラムなど (40-45%)	シングル水割り1杯 (原酒で30mL)	1.0
	ダブル水割り1杯 (原酒で60mL)	2.0
	ショットグラス (30mL) 1杯	1.0
(8) 梅酒 (14%)	1合 (180mL)	2.0
	お猪口 (30mL)	0.3

注意:

- 1) 1単位は、純アルコールで12.5mLまたは10g。
- 2) 発泡酒はビールと同じ。
- 3) カクテル類とは、果実味などを含んだ甘い酒をいう。
- 4) 梅酒は市販のものだけ(自家製は計算しない)。

【過去1年間にお酒を飲んだ経験がある方に】

問16〔回答票19〕あなたは、平均するとどれくらい「寝酒」、つまり眠りを助けるためにお酒を飲んでますか。

- 1 (ア) 毎日
- 2 (イ) 1週間に5～6日
- 3 (ウ) 1週間に3～4日
- 4 (エ) 1週間に1～2日
- 5 (オ) 1ヵ月に2～3日
- 6 (カ) 1ヵ月に1日
- 7 (キ) 1年間に6～11日
- 8 (ク) 1年間に1～5日
- 9 (ケ) 過去1年間に寝酒はしていない

(問18へ)

【過去1年間に寝酒をした経験がある方に】

問17〔回答票18〕寝酒として、平均すると1日どれくらい飲みますか。表を見ながら、種類別にお答えください。(調査員注：8頁のアルコール換算表を参照しながら記入する)

種類	(1)ビール・発泡酒	(2)日本酒	(3)焼酎	(4)酎ハイ類
単位数				

(5)カクテル類	(6)ワイン	(7)ウイスキー類	(8)その他(梅酒等)	合計

問18〔回答票18〕この1年間で、あなたが1日24時間のうちに最もたくさん飲んだ量はどれくらいですか。表を見ながら、種類別にお答えください。(調査員注：8頁のアルコール換算表を参照しながら記入する)

種類	(1)ビール・発泡酒	(2)日本酒	(3)焼酎	(4)酎ハイ類
単位数				

(5)カクテル類	(6)ワイン	(7)ウイスキー類	(8)その他(梅酒等)	合計

問19. また、そのような量を飲んだ日は、この1年間に何日くらいありましたか。

--	--

日



【全員の方に】

問 20. ちょっとだけの試し飲みは別にして、あなたが初めてお酒を飲んだのは何歳のときですか。

		歳
--	--	---

問 21. 現在あなたは、ビールをコップ1杯飲んだくらいの少量の飲酒によって、すぐに顔が赤くなる体質がありますか。

- |    |     |       |
|----|-----|-------|
| 1  | 2   | 3     |
| はい | いいえ | わからない |

問 22. お酒を飲み始めたころの1～2年間には、ビールをコップ1杯飲んだくらいの少量の飲酒で、すぐに顔が赤くなる体質がありましたか。

- |    |     |       |
|----|-----|-------|
| 1  | 2   | 3     |
| はい | いいえ | わからない |

問 23. あなたが定期的にお酒を飲み始めたのは何歳からですか。「定期的」というのは、少なくとも週に1回以上のペースで、6ヵ月間以上続けてということです。

		歳		00 定期的に飲んだことはない
--	--	---	--	-----------------

問 24. あなたが初めて、ひどく酔っぱらったと感じたのは何歳の時ですか。「ひどく」というのは、舌がもつれたり、足元がしっかりしないような状態です。

		歳		00 ひどく酔っぱらったことはない
--	--	---	--	-------------------

問 25 (回答票 18) それでは、これまでの飲酒経験の中で、あなたが1日24時間のうちに最もたくさん飲んだ量はどれくらいですか。表を見ながら、種類別にお答えください。(調査員注：8頁のアルコール換算表を参照しながら記入。問 18「過去1年間の最大飲酒量」の結果と同量以上かどうか確認する)

種 類	(1)ビール・ 発泡酒	(2)日本酒	(3)焼 酎	(4)酎ハイ類
単位数				

(5)カクテル類	(6)ワイン	(7)ウイスキー 類	(8)その他 (梅酒等)	合 計

まず、問 23 と問 24 をチェックして、両方とも「00」なら面前記入票 (16 頁) へ  
次に、問 25 をチェックして合計 2 単位未満であれば面前記入票 (16 頁) へ

問 26 の質問については、一部の結果を記録用紙（別紙）に記入しながら進める。  
 該当する項目（番号にアンダーライン）の回答に「記録」とある場合には、記録用紙  
 の該当項目の番号欄にも○を記入しておく。

問 26. これからおたずねする質問に「はい」か「いいえ」でお答えください。

(1) あなたは飲酒をやめるか、減らしたいと思ったことが今までに3回以上ありますか。

1	2	8
は い	いいえ	無回答

(2) 実際に飲酒をやめるか、減らそうとしたことがありますか。

1	2	8
は い	いいえ	無回答

↓

→ (4) へ

(3) 自分の意思でいつでも禁酒、減酒ができましたか。

1	2	8
は い	いいえ (記録)	無回答

(4) もう絶対に飲むまいと自分で決めたのに、飲み始めたことがありますか。または、自分で思っていたより多く飲んでしまったことがありますか。

1	2	8
はい (記録)	いいえ	無回答

(5) 自分で思っていたより長い時間のみ続けたことはありますか。

1	2	8
はい (記録)	いいえ	無回答

(6) 自分の意に反して飲み始め、やがてひどく酔っぱらってしまったことがありますか。

1	2	8
はい (記録)	いいえ	無回答

(7) 飲酒ができない状況にあっても、酒以外のこと以外は考えられないほど強い飲酒欲求を感じたことがありますか。

1	2	8
はい (記録)	いいえ	無回答

(8) 習慣的に飲酒するようになってから、アルコールに強くなりましたか。つまり、以前に飲んでいた量では気分が高揚しないと感じたり、飲酒の効果を得るために以前よりたくさん飲んだりしましたか。

1	2	8
はい (記録)	いいえ	無回答

(9) 以前より多くのアルコールを飲んでも、ひどくは酔っぱらわないと感じましたか。

1	2	8
はい (記録)	いいえ	無回答

(10) あなたは飲酒のために大事な活動、たとえば、スポーツ、仕事、あるいは友人や親戚との付き合いといったことをあきらめたり、大幅に減らしたりしたことがありますか。

1	2	8
はい (記録)	いいえ	無回答

(11) 飲んでいる時に、誤ってけがをしたことが3回以上ありますか。けがとは、激しく転んだり、ひどく切ってしまったり、骨折したり、交通事故にあう、というようなことです。

1	2	8
はい (記録)	いいえ	無回答

→ (13) へ

(12) この1年間に少なくとも1回、そのようなけがをしましたか。

1	2	8
はい	いいえ	無回答

(13) 長い間にわたって飲酒を続けていると、それが原因となって、肝臓の病気、胃の病気、すい臓の病気、高血圧、糖尿病、高脂血症、高尿酸血症や痛風といった健康上の障害がでてくる場合があります。飲酒が引き金になってこのような障害を引き起こしたことがありますか。

1	2	8
はい	いいえ	無回答

→ (16) へ

(14) そのような障害は、この1年間にもありましたか。

1	2	8
はい	いいえ	無回答

(15) あなたは、飲酒がこれらの健康上の問題を引き起こしているとわかっていながら、飲酒を続けましたか。

1	2	8
はい (記録)	いいえ	無回答

(16) 飲酒によって悪化する可能性がある他の重大な体の病気が自分にあることを知りながら、飲酒しつづけたことがありますか。(調査員注:「はい」という場合には、病名を具体的にたずねて記入する)

1	2	8
はい (記録)	いいえ	無回答

病名(具体的に )

(17) 飲酒が原因で、不眠、憂うつな気分、神経過敏、幻視、幻聴、他人に対して疑い深くなるといったような、心の問題を経験したことがありますか。

1	2	8
はい	いいえ	無回答

→ 次頁の (20) へ

(18) そのような問題は、この1年間にもありましたか。

1	2	8
はい	いいえ	無回答

(19) あなたは、これらの問題が飲酒のために生じていると知りながら、飲酒を続けましたか。

1	2	8
はい (記録)	いいえ	無回答

(20) ある期間飲酒していた人が、その後、酒の量を減らしたり、やめたり、酒なしで過ごすようになると、気分が悪くなることがあります。この気分の悪さは通常の二日酔いよりずっと辛いものです。あなたは酒をやめたり、減らしたり、または酒なしで過ごしたとき、手のふるえを経験したことがありますか。

1	2	8
はい (記録)	いいえ	無回答

↓  
→ (下記調査員指示の記録用紙チェック1へ)

(21) そのような場合、あなたは手のふるえが出ないように、あるいはそれをなくすために飲酒したことが、これまでに3回以上ありますか。

1	2	8
はい (記録)	いいえ	無回答

(22) あなたは酒をやめたり、減らしたり、または酒なしで過ごしたとき、夜眠れなかったり、汗をかき、心臓が強くうつ、吐き気や嘔吐、てんかん発作、幻覚などの症状が出たことがありますか。

1	2	8
はい (記録)	いいえ	無回答

(23) その症状が出ないように、あるいは症状をなくすために飲酒したことが、日を違えて3回以上ありますか。

1	2	8
はい (記録)	いいえ	無回答

**(記録用紙チェック1)**  
記録用紙を参照し、グループ1～6までの中にチェックがあるかどうか調べる。  
もし、1つでもあれば問27へ。  
1つもなければ面前記入票(16頁)へ。

問27. (記録用紙を対象者に示しながら)

これはここまでのお話をまとめたものですが、これらのあなたの体験の中で、一番最近のものは何歳のときですか。

--	--

歳

**(記録用紙チェック2)**  
記録用紙を参照し、グループ1～6について、チェックのあるグループ数を数える。  
2グループ以下であれば、面前記入票(16頁)へ。  
3グループ以上あれば、次頁の問28へ。